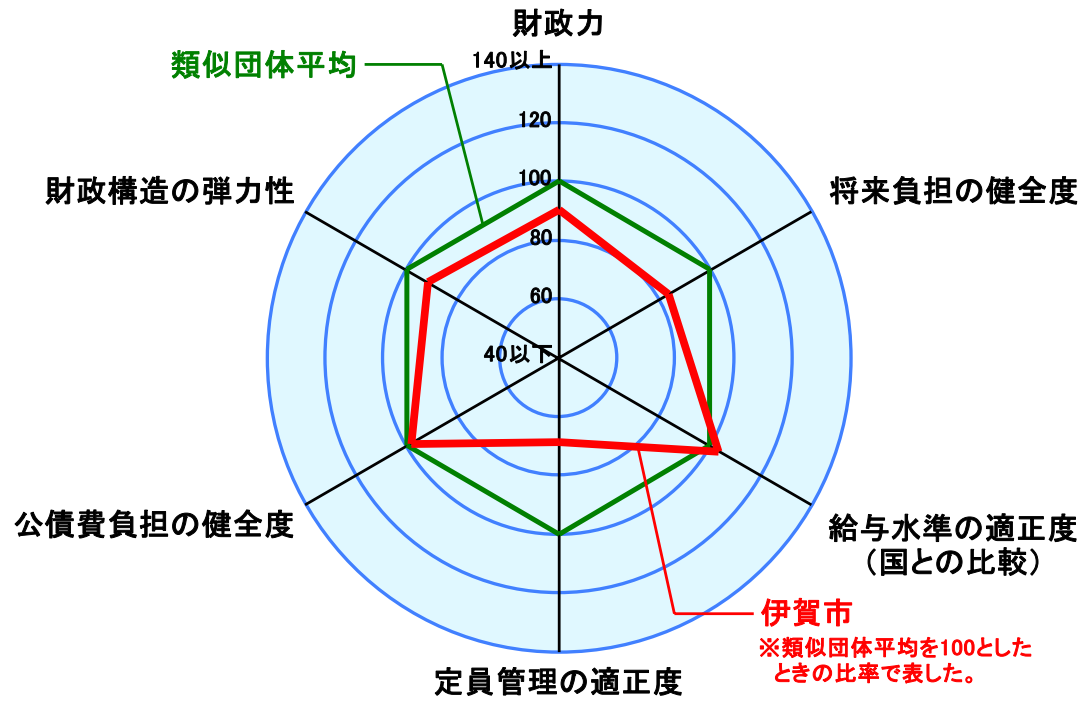
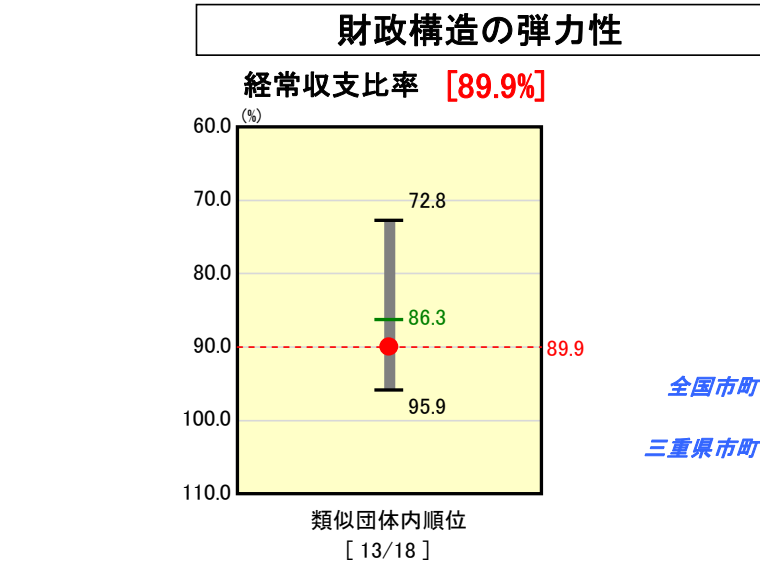
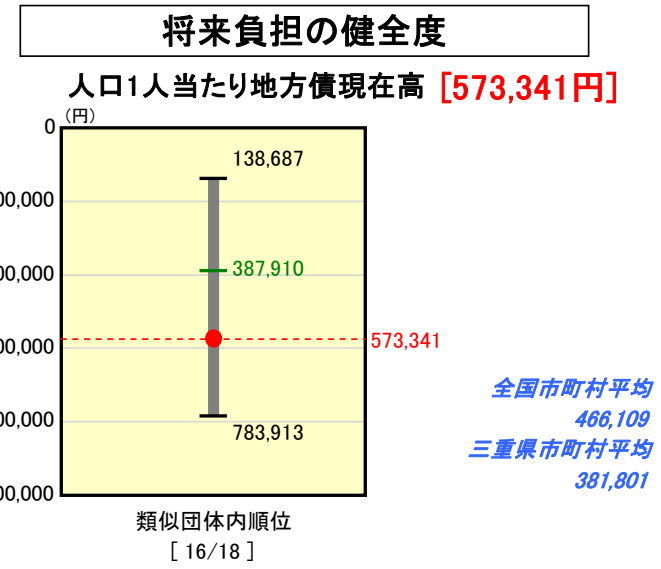
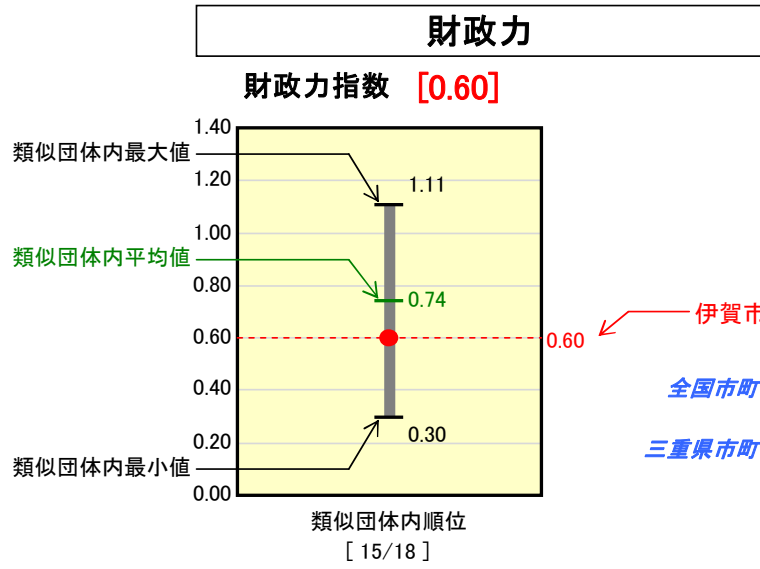


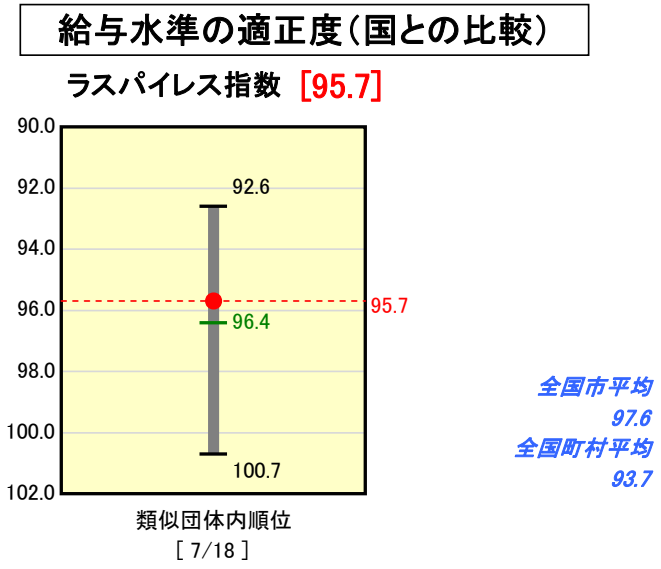
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 伊賀市

人口	98,715 人(H17.3.31現在)
面積	558.17 km ²
歳入総額	54,220,045 千円
歳出総額	52,359,921 千円
実質収支	1,461,586 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数: 全国平均を上回る高齢化率(算定基礎となる平成12年国勢調査で23.0%)やこれまでの投資により道路延長の値が大きいこと等で0.60となっている。人件費の抑制や、指定管理者制度の導入等により歳出を見直すとともに、税の徴収率向上にも引き続き努力する。

経常収支比率: 平成16年度は合併年度でもあるため、決算が旧6市町村の合算になっている。そのため、人件費をはじめ、経常的経費全ての項目で類団平均よりも高い額となっている。今後予定している定員適正化による人件費の削減や、補助費のうち寄附金等に係る部分を3年で3割削減する等、経常経費を削減して健全化を図る。

起債制限比率: 現時点ではほぼ平均水準ではあるが、学校統廃合を含む新市建設計画に基づいた事業により、増加が見込まれる。今後推進すべき事業を厳正に取捨し、起債制限比率の急激な上昇の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 当該年度の義務教債の借入を筆頭に、近年大規模な建設事業が続いたため、1人あたり負担額が増大した。今後は総合計画に則って事業を選択し、合併特例債や辺地債といった交付税算入の高い起債を活用し、後年度の負担を少しでも減らすように努める。

ラスパイレス指数: 全国市平均より低い数値ではあるが、今後も各種手当の見直し、特に管理職手当・特殊勤務手当を重点的に見直し人件費の抑制に努める。

人口1,000人当たり職員数: 定員適正化計画を策定し適正な人員に近づけていく予定である。

